

県民多数が反対 強硬は許さない!

宿泊税 県美術館移転 水道民営化 原発再稼働

党県議団は論戦の先頭に

〈補正予算特別委員会・総括質疑〉



金田もとる

2月13日(木)
午前11時30分すぎ

〈代表質問〉



三浦 一敏

2月21日(金)
午後2時30分すぎ

1. 村井県政の問題点と課題
2. 上下水みやり型管理運営方式について
3. 県美術館移転問題と宿泊税について
4. 気候変動の深刻さと水産業の危機的状況について
5. 女川原発再稼働ストップ。原発ゼロをめざして
6. 台風被害と雨水対策について

〈一般質問〉



天下みゆき

2月26日(水)
午後1時30分すぎ

1. 女川原発再稼働と避難計画の実行性について
2. 地域経済の再生をめざして
(1) 「宿泊税」の撤回を求める
(2) 水産加工業への支援など
3. 病院の「再編・統合」から地域医療を守るために



大内 真理

3月3日(火)
午前10時30分すぎ

1. 「誰一人取り残さない」人間復興の宮城県政を
2. 水道「みやぎ方式」ではない、持続可能な水道事業と総合的な治水対策を
3. 大川小確定判決を踏まえた女川原発事故を想定した広域避難計画の実施について
4. 宮城県美術館移転・宿泊税導入問題について

〈予算特別委員会・総括質疑〉



福島かずえ

3月4日(水)
午後2時すぎ

〈最終日討論〉



金田もとる

3月17日(火)
午後1時すぎ

ぜひ議会傍聴においでください

――反対の声を無視する
――民主主義破壊の県政は大問題

宿泊税と県美術館の移転問題が県政の大きな焦点となっています。この2つの共通点は、どちらも関係者の意見や議論をかさねることがないまま、拙速に県の方針が出されたことです。宿泊税は3000円以上を払い県内に宿泊する方から1泊当り300円を徴収するというもので、これは先行実施されている自治体と較べても、2万円以下の宿泊料金にかけると、日本一高く、消費税や入湯税の他に、宿泊税を徴収することになる宿泊事業者の多くが反対しています。ところが2月県議会に提案されようとしています。

県美術館の移転も昨年夏までは、現在の立地条件をいかにリニューアルする方針だったのが、11月に突然、県民会館と抱き合せて楽天球場の近くに移転する案が示されました。これも文化・芸術に携わる関係者の意見をきちんと聞いていません。

またどちらもパブリックコメントやアンケートで、7割、8割の方が反対しています。県民多数がやらないで欲しいと思っていることを、県議会の数の多数だけで強行することは許されません。党県議団はこの2つの問題を、民主主義を壊す大問題に位置つけて論戦します。



2月7日 商工団体らが「宿泊税」条例の提案をおこなわないことを求める緊急申し入れ

2月議会の日程(予定)

2月12日(水)	開会・本会議
13日(木)	予算特別委員会総括質疑・予算分科会
14日(金)	常任委員会・本会議(先議)
17日(月)	20日(木) 休会日
21日(金)	代表質問
26日(水)～3月3日(火)	一般質問(土日月は休会)
3月4日(水)	予算特別委員会総括質疑
5日(火)	予算特別委員会総括質疑・予算分科会
6日(金)～12日(木)	予算分科会(土日と11日休会)
13日(金)	常任委員会
16日(月)	常任委員会・予算特別委員会
17日(火)	本会議・閉会

日本共産党 県議団ニュース

2020年2月 号外
発行：日本共産党宮城県議会議員団
(控 室) TEL 022(211)3523
FAX 022(268)6093
E-mail: info@jcpmk.jp